



# イージス撤回なら邊野古も撤回

## 工事変更申請「不承認」へ全国世論を！

安倍政権・沖縄防衛局は、4月下旬以来停止していた辺野古埋立で工事を、6月12日に再開した。この日、シユワブ基礎ゲート前では、市民・住民によつて搬入阻止行動が急ぎよ打たれ、また15日からは「オール沖縄」としての反対行動が、シユワブ前・安和・塙川で再開された。

東京では15日の夕、防衛省前で工事再開抗議行動が、埋めるな！首都圏連など100名余で急きよ行なわれた。

新型コロナ感染者が埋立て作業員にも出た末の工事停止は、6月7日投票の県議選が終わるまで政治的に続けられて、玉城知事と党系が過半数を維持し、新基地反対の民意が再確認された結果を無視するものである。

しかし新県議会は、知事と党系25、野党系23の僅差であり、安倍政権は元維新などを使つて与党系無所属の切り崩しを狙つている。また、工事設計変更申請に對する沖縄県の審査が長期化する中、防衛局が大浦湾側でも準備作業を不法に強行してくる危険もある。

それでも展望は、われわれ反対運動側にある。今後の沖縄県による申請「不承認」の断行が、安倍政権の命運と絡んでくる。安倍退陣と邊野古見直しをセットで勝ち得ることは可能だ。

この現況下で、辺野古新基地建設に並ぶ安倍政府による安全保障施設の主要な一つ、陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画が撤回に追い込まれた。6月15日、河野太郎防衛相が計画回復を表明し、配備計画の停止を表明し、統一24日、安倍政権の国家安全保障会議が計画撤回を決定した。「コロナ失政」、検察庁法改正の失敗、参院立候買収事件と続く中での、安倍政権への打撃である。

イージス見直しなら辺野古も見直しの声は、政治的立場を超えて一挙に大きくなっている。陸上イージスを米国から言われるままに爆買することが見直しなら埋立てが可能かどうかも分からぬ工事を投することも見直し、これは当然だ。

陸上イージス撤回の理由として、発射後切り離すミサイル推進装置の落成に対する冲縄県の審査が長い間進行してくる危険もある。

それでも展望は、われわれ反対運動側にある。今後の沖縄県による申請「不承認」の断行が、安倍政権の命運と絡んでくる。安倍退陣と邊野古見直しをセットで勝ち得ることは可能だ。

この現況下で、辺野古新基地建設に並ぶ安倍政府による安全保障施設の主要な一つ、陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画が撤回に追い込まれた。6月15日、河野太郎防衛相が計画回復を表明し、配備計画の停止を表明し、統一24日、安倍政権の国家安全保障会議が計画撤回を決定した。「コロナ失政」、検察庁法改正の失敗、参院立候買収事件と続く中での、安倍政権への打撃である。

イージス見直しなら辺野古も見直しの声は、政治的立場を超えて一挙に大きくなっている。陆上イージスを米国から言われるままに爆買することが見直しなら埋立てが可能かどうかも分からぬ工事を投することも見直し、これは当然だ。

陸上イージス撤回の理由として、発射後切り離すミサイル推進装置の落成に対する冲縄県の審査が長い間進行してくる危険もある。

それでも展望は、われわれ反対運動側にある。今後の沖縄県による申請「不承認」の断行が、安倍政権の命運と絡んでくる。安倍退陣と邊野古見直しをセットで勝ち得ることは可能だ。

この現況下で、辺野古新基地建設に並ぶ安倍政府による安全保障施設の主要な一つ、陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画が撤回に追い込まれた。6月15日、河野太郎防衛相が計画回復を表明し、配備計画の停止を表明し、統一24日、安倍政権の国家安全保障会議が計画撤回を決定した。「コロナ失政」、検察庁法改正の失敗、参院立候買収事件と続く中での、安倍政権への打撃である。

イージス見直しなら辺野古も見直しの声は、政治的立場を超えて一挙に大きくなっている。陆上イージスを米国から言われるままに爆買することが見直しなら埋立てが可能かどうかも分からぬ工事を投することも見直し、これは当然だ。

陸上イージス撤回の理由として、発射後切り離すミサイル推進装置の落成に対する冲縄県の審査が長い間進行してくる危険もある。

それでも展望は、われわれ反対運動側にある。今後の沖縄県による申請「不承認」の断行が、安倍政権の命運と絡んでくる。安倍退陣と邊野古見直しをセットで勝ち得ることは可能だ。

この現況下で、辺野古新基地建設に並ぶ安倍政府による安全保障施設の主要な一つ、陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画が撤回に追い込まれた。6月15日、河野太郎防衛相が計画回復を表明し、配備計画の停止を表明し、統一24日、安倍政権の国家安全保障会議が計画撤回を決定した。「コロナ失政」、検察庁法改正の失敗、参院立候買収事件と続く中での、安倍政権への打撃である。

イージス見直しなら辺野古も見直しの声は、政治的立場を超えて一挙に大きくなっている。陆上イージスを米国から言われるままに爆買することが見直しなら埋立てが可能かどうかも分からぬ工事を投することも見直し、これは当然だ。

陸上イージス撤回の理由として、発射後切り離すミサイル推進装置の落成に対する冲縄県の審査が長い間進行してくる危険もある。

それでも展望は、われわれ反対運動側にある。今後の沖縄県による申請「不承認」の断行が、安倍政権の命運と絡んでくる。安倍退陣と邊野古見直しをセットで勝ち得ることは可能だ。

この現況下で、辺野古新基地建設に並ぶ安倍政府による安全保障施設の主要な一つ、陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画が撤回に追い込まれた。6月15日、河野太郎防衛相が計画回復を表明し、配備計画の停止を表明し、統一24日、安倍政権の国家安全保障会議が計画撤回を決定した。「コロナ失政」、検察庁法改正の失敗、参院立候買収事件と続く中での、安倍政権への打撃である。

イージス見直しなら辺野古も見直しの声は、政治的立場を超えて一挙に大きくなっている。陆上イージスを米国から言われるままに爆買することが見直しなら埋立てが可能かどうかも分からぬ工事を投することも見直し、これは当然だ。

## 安倍打倒へ創意工夫を

### 国会閉会＝安倍逃亡を許さず 6・19

としているが、その論議の前提を欠いている。

辺野古工事では、米下院軍事委員会が10月23日、来年度の国防権限法

ととしているが、その論議の前提を欠いている。

辺野古工事では、米下院軍事委員会が10月23日、来年度の国防権限法

としているが、その論議の前提を欠いている。

## 石井紀子さん追悼 6・28 東峰行動

### 成田第3滑走路反対！

成田第3滑走路反対！

### (vi) 同情する地方官 「西洋派」を批判

新型コロナ感染症の影響で航空機の発着が大幅に減少し、4月12日から2本ある滑走路の内の1本(B滑走路)が閉鎖された。1978年の開港以来初めてのことである。従来から地上40mの低空を2分間隔で飛行機が着陸するB滑走路の先頭で開かれている集会で、去る3月11日に交通事故で急逝された東峰の石井紀子さんを追悼し、「第3滑走路現地行動」が「三里塙空港に反対する連絡会」の主催で取り組まれ、50人が参加した。

秋田県民がこそつて反対してきたことの成果、とは言える。しかしながらの理由を明らかにしないまま、ミサイル防衛が頓挫したので、今度は敵基地攻撃能力整備

が、7月中旬から3週間に亘りとばかりに、敵基地攻撃能力の保有を含む国家の改定にすむとしている。

この日は「静けさ」の中、(横堀地区)の司会で始まり、第一部は、山崎さん

で横堀、丹波山の空港会社用地では工事は連日行なわれ、移転工作も進められている。ひたすら利潤を追求して空港を拡大されることが正しいのか、「明治二年の凶作は極めて悪質の大凶作であつて、最大のコロナ対策を許さない闘争に連帯する憲法を踏みにじる政府に、國政は任せられず、大教説の清水雅彦ら日本連帶アピールでは、ま

だつた。法の支配の否定は許されないと首相の違憲行為を改めて指摘した。

「止めよう！」辺野古埋立てに立ち向かうと、法を無視した暴走は許されないと首相の違憲行為を改めて指摘した。

つまり、追及から拉致される。悔い改めない安倍政権に引導を渡す鬭いとして、6・19は打ち抜かれたのである。この「宮沢一揆」は、大凶作も法的根拠もなない。法を無視した暴走は許されないと訴えつつ、以下の行動提起。

6月26日、ウェインズアクリション(午後6時、有楽町イトシア前)にて、「(\*明治2年)6・19国会開会実行委員会」が開催された。集会は、最初に小川月ぶりに開催された。

全国市民アクション。安倍内閣と与党自公は、国会野党が大幅会期延長を求める中、6月17日には、国会を閉会した。検察庁法改正案も廃案にして、そそくさと国会を開じたのは、何故か。新規コロナ対策の失敗、広告大手・電通との癒着(持続化給付金の中抜き問題)、黒川検事長問題、そして昨年7月参院選・広島選舉区での河井克行・案里衆參議員夫妻による公職選挙法違反事件、これらへの野党・国民の追及から逃れるため

である。それでも安倍は、時間と巨費を投することも見直し、これが当然だ。

6月15日、唐突に迎撃ミサイル基礎計画イージスを中止すると発表したが、その代わりとばかりに、敵基地攻撃能力の保有を含む国家の改定にすむとしている。



